

平成 3 0 年

亀山市教育委員会 8 月定例会会議録

亀山市教育委員会 8 月定例会会議録

1. 日 時

平成30年8月22日（水）午後2時開会

2. 場 所

亀山市役所本庁舎3階 理事者控室

3. 出席委員

教育長	服 部 裕
1 番委員	井 上 恭 司
2 番委員	大 萱 宗 靖
3 番委員	宮 村 由 久
4 番委員	太 田 淳 子

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育部長	草 川 吉 次
教育総務課長（以下総務課長という。）	原 田 和 伸
学校教育課長（以下学校課長という。）	西 口 昌 毅
参事（兼）生涯学習課長（以下参事生課長という。）	亀 山 隆
図書館長	井 上 香代子
歴史博物館長（以下歴博館長という。）	小 林 秀 樹
文化スポーツ課まちなみ文化財グループ副参事（以下まち副という）	山 口 昌 直
学校教育課主幹兼学事教職員グループリーダー（以下学事GLという）	高 宮 綾 子
学校教育課主幹兼教育支援グループリーダー（以下教支GLという）	平 野 朋 希
教育総務課主幹兼教育総務グループリーダー（書記）	草 川 正 富
教育総務課教育総務グループ主査（書記）	西 口 幸 伸

6. 会議録署名者指名

3番委員（宮村由久委員）

4番委員（太田淳子委員）

7. 教育長報告

教育長 21日、関宿祇園夏祭りに出席した。また、亀山市文化会館の運営委員であるため、若い芽のコンサートにも出席した。

22日、鈴鹿地区中学校総合体育大会に出席した。図書館整備市民ワークショップは、井上委員、太田委員に出席いただいた。本年度第1回目のワークショップであり、ネットワークの在り方を中心に検討いただいた。

23日、行財政改革統括管理委員会は、放課後児童クラブを指定管理とするのか、関町の2箇所放課後児童クラブを旧保健センターに統合して1箇所とするのかの議題であった。

24日、教育行政トップリーダーセミナーは、人材育成や経営面での講義であった。

26日、GTEC学習会は、英語検定のような英語教育システムの学習会であった。また、教科用図書採択協議会は井上委員に出席いただいた。

27日、働き方改革に関する学校現場の意見聴取会に出席した。

8月に入って、インターハイ関係で各教育委員に開会式に出席いただいた。

3日、つなぐ育ち研修会では、鈴鹿大学と協定を結び、鈴鹿大学の先生や全国レベルで活躍してみえる講師に来ていただき、不登校対策の学習を行った。

4、5日、NHK音楽コンクールに出席した。

7日、英語デイキャンプは井上委員に出席いただいた。楽しく充実した場となった。

8日、本日の議題でもあるが、教育委員会事務の点検・評価が行われた。

9日、保健衛生懇談会は、亀山歯科医師会等と市幹部との懇談であった。乳幼児期からのゲームやスマホの利用は、やめさせた方がよいとの意見があった。

10日、前教育長などが中心となり組織したNPOからの不登校関係者の対話集会の協力依頼があった。

17日は、陸上1500mで全国大会に出場した種尾君が表敬訪問に来庁した。

(ほかに質問はなく、教育長報告を終わる。)

8. 議事

教育長 議案第32号「平成29年度教育に関する事務の点検・評価報告書について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育部長 議案第32号「平成29年度教育に関する事務の点検・評価報告書について」です。提案理由として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、平成29年度教育に関する事務の点検・評価報告書を作成することについて、委員会の議決を求めるものです。詳細については、教育総務課長が説明します。

総務課長 別冊の報告書を御覧ください。市の事務の点検評価シートの見直しもあり、また平成29年度は第2次亀山市総合計画第1次実施計画の初年度でもあります。節目の年となったため、報告書の体裁も見直しました。

2ページ、3ページでは点検評価の対象となる事務として、主要事業と標準事業に分けています。まとめ方として総合計画の施策の方向に合わせて、事業をそれぞれ整理しています。

主要事業は15件、標準事業は22件です。

次に、施策の体系図を添付しています。

また、9ページからの事務事業評価シートでは、第1次評価者はグループリーダーであり、最終評価者が課長となっています。

標準事業では教育委員会事務局で独自にシートを作成しています。全体にC評価はなく、A評価が多い状況です。

61ページの2人の学識経験者による評価については、昨年度と同じ三重大学非常勤講師の古田先生と鈴鹿大学教授の仲先生にお願いしています。なお、今回は二人の意見を総括的にまとめて構成しています。

63から64ページは、それぞれの施策に対する意見を事業単位で記載しています。

最後に65ページの課題と今後の取組として、教育委員会としての意見を取りまとめています。この65ページから66ページは重要な部分ですので、事務局が朗読します。

(平成29年度教育に関する事務の点検・評価報告書事務局朗読)

井上委員 働き方改革という言葉が使われているが、その内容は何か。分かりやすく説明をお願いしたい。

国のレベルでは、休暇の取得や同一労働同一賃金などを含んでいるようであるが、時間外勤務の削減以外に何かあるのか。

学校課長 今まで時間外勤務の削減が話題の中心でしたが、国の緊急提言などの中には、人の配置や専門職によって職務を分担するとか、学校が担うのかどうかなど、これらを含んで働き方改革と呼んでいます。時間外勤務の削減だけではありません。

井上委員 その辺りも今後の議論になるのか、ならないのか不明であるが、時間外勤務の縮減だけでなく、幅広い働き方改革の中身を明確にすることができることを進めてほしい。

大萱委員 44ページの地場農畜産物利用推進事業について、以前、学校訪問の際にあまり良くない食材を見たことがあるが、課題のところで食材を献立に取り入れる時期を再検討するということが解決できるのか。

総務課長 食材の提供時期がずれることで一部傷みが出る場合があります。時期に応じて提供できる食材を選定します。提供できる食材について生産者と継続的に打合せを実施しています。より良い物を適切な時期に提供できるよう調整していきたいと思えます。

大萱委員 時期によっては、直前に食材が変更されるのか。

総務課長 年間計画を立て、確実に提供していただける食材を確保していきます。

教育長 天候の関係で提供できる食材の時期がずれることがある。できた食材の育ちに違いが出てくることはある。地産地消であるので、仕方ない部分もある。

大萱委員 提供できる食材が決まっているのであれば、急な食材変更はできないのか。

教育長 多少の変更は可能であるが、予めメニューが決まっているので、急に言われると、大幅な変更はできない。また、あまり頻繁に変

更できない。

大萱委員 食育の推進は分かるが、地元の食材は手間がかかるので、学校給食で使わなくなるのではないか。

教育長 理想的なのは生産農家が保冷庫を持っていて、提供する時期を調整できると良いのだが。生産農家もそこまでの状況にはない。

大萱委員 地産地消で食育の推進をするのであれば、それらの対応ができるように進めてほしい。

教育長 給食費の公会計化と合わせて、それらの調査研究も進めていく。

太田委員 63ページ学力向上推進事業について、原因を解明の上、教員間で共有してほしいとの意見であり、厳しい表現である。今後どうしていくのか。

学校課長 平成29年度の結果があまり芳しくない点もあり、そのような意見でしたが、事業改善を図りながら、この意見を励みとして頑張っていきます。

総務課長 この全体的な意見は、事務局で有識者意見の表現を統一したので、若干、厳しい表現と感じるところもあろうかと思えます。

教育長 学力については、現状に満足しているわけではないので、教育委員会としても65ページの課題のところにおいて、学力の定着向上については個別の事業に応じた授業改善の継続が必要としている。また、今後の取組の中でも学力向上計画にのっとった取組を継続していきたいとしている。

教育部長 こういった厳しい意見をいただいた背景としては、27、28ページにおいて④の指標のところ、①の全国学力学習状況調査の結果が目標値94を下回り91であったこと、授業理解度や家庭学習の状況も計画値に対して実績値が伸びていない状況を見て厳しい意見であったと感じています。

太田委員 先生が学力の低い子に合わせて授業をするだけでなく、雑談などで時間調整をしていることがあったと聞いた。そういったところは改善していく必要がある。

学校課長 御意見ありがとうございます。授業改善を進める中でそのような時間の余裕はあまりない授業となるはずなので、その点もしっかりと情報発信します。

宮村委員 図書館のことについて、12ページを見ると、目標を上回っているように感じる。まだやり足りない部分があるのB評価と思

うが、何があるのか。

参事生課長 実績値としては十分に成果があったと思いますが、今回B評価とした理由は、当初の予定どおりに年度内に計画を策定できなかったところにあると考えています。

宮村委員 活動もB評価であるが、やり残したことがあったのか。

参事生課長 こちらもスケジュール的な問題であると考えています。回数は十分であったが、スケジュール面でB評価としています。

井上委員 事業の点検評価をする中で事業を統合したり、中止したりする事業はあるのか。そのような思いを持った事業はあるのか。

教育部長 こういった形での点検評価をしたものの、様々な新たな課題が発生してきているので、スクラップアンドビルドで見直しをすべき事業があるということは感じています。

井上委員 全ての部局で無駄な事業はないと思うが、廃止又は統合をしていかないと持たないのではないかと感じた。

教育長 これらは予算を伴う事業であるが、予算を伴わない事業は別にたくさんある。その辺りが難しいところである。

教育部長 例えば、部活動ガイドラインの策定作業やこの点検評価の事業も予算を伴うものではないのですが、それなりの事務量があると感じます。

大萱委員 これらの評価シートは、1次評価者のグループリーダーが作成し、次に課長が最終確認を行うのか。

教育長 そうであるが、さらに部長も評価シートの確認を行っている。
(ほかに質問はなく、議案第32号は可決される。)

9. 報告事項

教育長 報告事項1「市内小中学校における総勤務時間縮減の取組について」説明を求める。

(学校課長説明)

太田委員 神辺小学校と関小学校の勤務時間が増加している。その理由は何か。

学校課長 新しいメンバーが入って1年が経過しないと仕事に慣れないというところがあります。この勤務時間に現れない負担軽減は進んでいると聞いています。

教育長 神辺小学校は人員の入れ替わりがあり、若い職員が増えたと聞

いているので、その影響もあると思う。

宮村委員 中学校の数字をどのように見たらいいのか。新たに部活動指導員などが増えているし、7月から部活動ガイドラインが改定されたことを受けて、何か影響があるのか。

学校課長 部活動ガイドラインが守られていない状況があるのかもしれませんが。更に分析が必要であると考えます。また、亀山中学校では先生の数が増え、部活動の数は減っていないので、そこに部活動指導員1人を充てている状況です。部活動指導員2人体制でやっと改善されるのではないかと思います。その影響ではないかと感じています。

(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項2「生徒指導について」説明を求める。

(学校課長説明)

宮村委員 夏休みも終わりに近くなってきているので、この時期にいろいろな非行行動にならないよう学校の先生は警戒してほしい。

学校課長 家庭訪問などのアプローチをして対応していきます。

(ほかに質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項3「亀山市地域人材キラリ育成事業推進委員会委員の委嘱等について」説明を求める。

(参事生課長説明)

(質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項4「図書館利用状況について」説明を求める。

(図書館長説明)

(質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項5「工事及び委託事業の発注状況」説明を求める。

(総務課長説明)

大萱委員 野登小学校の有刺鉄線でサルの侵入を防げるのか。効果があるのか。

総務課長 対策としては、これまではプールにブルーシートを貼るなどの工夫をしていましたが維持するのが難しく、また電柵であると見

童が怪我をする危険があるので、今回、有刺鉄線にしました。

学校のプール終了後に工事を施行していますが、対策がこの方法以外に考えられない状況です。効果はあると考えています。

教育長 報告事項6「教育委員会行事報告及び予定表」説明を求める。
(総務課長、学校課長、参事生課長、図書館長、まち副及び歴史博物館長説明)

教育長 8月17日、よりよい図書館をめざす会会長から要望書が提出されたので報告する。
(ほかに質問はなく、協議を終わる。)

10. その他

太田委員 各小中学校等の運動会の日程を確認したい。

教育長 中学校が9月22日、小学校が9月29日、幼稚園が10月6日、10月7日は教育懇談会である。

11. 閉会

午後3時45分